

天体望遠鏡第9回公演用台本

チャンピオン達の朝食

登場人物

男：

妻／記者1：佐々木貴恵

娘／ネコ3／記者2：清水みゆき

弟／ネコ4／記者3：及川和善

パパ／ネコ5：遠藤俊嗣

ネコ：川辺智子

男2：

あーまし

1. 朝食

2. 起床

3. 診察

4. 会議1

5. 会见

6. 昼食

7. 編集1

8. 人形

9. 会議2

10. 寿司

11. 捨猫

12. 期限
13. 寸劇
14. 会食
15. 睡眠
16. チャンピオンたちの朝食

舞台は、室内のダイニング、男が眠るベット、それ以外のいろいろに使う場所の3つの空間がある。

暗転

軍艦マーチが流れている

明転

1. 朝食（未来）

テーブルに座り娘が朝食（シリアル）を食べている。足元にはネコがいる。

奥から母の声　早く食べちゃいなさいよ…

奥からパパの声　あれ、この間買った靴下どこだっけ？

母の声　クローゼットの上見た？

パパの声　あつた…今日雨かな？

母の声　知らない、テレビ見たら

パパの声　そうだね…

娘、無言で食べている。スプーンが奇妙に曲がっているので食べにくそうに見える

母 (仕事に行く格好で登場) 毎朝よくそんなもんで足りるよねあんだ…

娘 いいじゃん

ネコ ニヤー

娘 (ネコにシリアルを分け与える)

母 じゃ、ママ先行くから、早く食べちゃいなさいよ…(行きかける)

娘 ママ!

母 はいはい…(男の眠るベッドの前に立ち)行ってきます…(退場)

娘 (しばらくスプーンでシリアルを食べようとするが、断念し、皿を持ち一気に食べる)

ネコ ニヤー

軍艦マーチが高らかに鳴る

暗転

2. 起床(現在)

明転

誰もいない室内

枕元で目覚ましが鳴る

男、点滴の付いた体をバタつかせ、なんとか目覚ましを止め、しばらくして起き上がる。

寝グセ頭、仙人のような白いひげ、パジャマ姿

男 うん？

しばらく辺りを見回すが、状況が飲み込めない様子
点滴につらされた豆もやしをみつけ

男 もやしって…(ベットから出ようとするが、体が痛む様子)イツー…あれ？

小鳥のさえずり

さおだけやアナウンス

焼き芋屋の音、が立て続けに流れ、
「時間くらいの時間があつという間に経過する。
照明も昼から夕方へ

男 おお、何だ、何だ、ぼーとしてた、よだれ！腹減った

ゆっくりと起き上がり、尿瓶につまずく、等いくつかのアクシデントを乗り越え台所へたどり着く、奥へ回りカ
ップ麺を取って登場。カップ麺を空け、ポットのお湯を注ぐ

男 (具材を見て)お召し上がりの直前に入れて下さい、(別の具材)お召し上がりの直前に…(別の具材)お
召し上がりの…ああああ、あん(全部今すぐ入れる)あと、何か食いもんねーか(奥へ退場)

妻の声 ただいま…(登場、先ほどの登場の時とは印象が違う)カップ麺？美世子だめじゃない、
「飯前の前でしよう、太るぞ、太るぞ、もう…あとね、これ、お召し上がりの直前に入れて下さいって書いてるでしよう、
そうしないとおいしくないぞ！どれどれ(味見しようとする)

男 (コック帽にフライパンとフライ返しを持ち登場)

妻 キ、キヤー、キヤー、キヤー、キヤー

男 し、し、し、しーて！

妻 あんた誰！

男 いや、誰っつうか…

妻 もしかして、かわいいコックさん？

男 (画用紙とペンを出し歌いながら) 棒が一本あったとき 葉っぱかな 葉っぱじゃないよ カエルだよ カエルじゃないよ アヒルだよ 6月6日に雨ザアザア降ってきて 三角定規にEいって アンパンニツ豆ニツ コツペパンニツ くださいな あつという間にかわいいコックさん って違っよ！ 長げーし、似てねーし

妻 じゃ誰？

男 いや、誰っつうか…

妻 (カツ麺の割り箸を持ち男を威嚇する)

男 いやいやいや、そうゆうのじゃないから、研ぐな！ 割り箸を研ぐな！ 危ないから

妻 じゃ誰！ 一体何が目的、体？ 体？

男 いや、だから、なんつーか、寝てて、起きて、今？

妻 寝てて…ぶっでー

男 どぶっで、そぶっで…(ヘッドを指す)

妻 そぶっで…

男 お前、恵子か！ 恵子じゃん、老けたなお前、どうしたの、ええー

妻 起きたって…起きたの！

男 うん

妻 ヒー(気絶する)

男 (妻を抱え) おいってーえええ…(妻をテーブルの椅子に座らせる)

娘の声 ただいま

男 また誰か来たし(奥に退場)

娘 (登場)あれ、ママ?どうしたの

男 (たくあんを口にくわえ登場、さっきより若干かわいいコックさん度が増している)やあ!

娘 キヤー、キヤー

男 し、し、だからしー!

娘 あんた誰?

男 だから、誰っていうか?

娘 かわいいコックさん?

男 棒が一本あったときさう…てやらねーよ、二回目だし、きつい、きつい…

娘 じゃ誰!(割り箸で構える)

男 いやいやいや、そうゆうのじゃないから

娘 すー、すー、すー(研ぐ)

男 研ぐな!だから研ぐな!尖らせるな!危ないから

娘 (笑顔で)誰?

男 その笑顔怖い…もうだから、誰って言うか…もう、寝てて、起きて、今?

娘 寝てて…どこで…

男 ベットで

娘 ベットって…あのベット?

男 うん

娘 起きたの!

男 うん

娘 …ヒー(気絶する)

男 っておい!(抱えて椅子に座らせる)、もう何だこれ

弟の声 こんにちは、こんにちは!姉さん、みーちゃん、いないの?

男 また誰か来たし(退場)

弟の声 玄関のチャイム壊れてるみたいだよ…(登場)あれ、いるじゃん、どうしたの…

男 (コック的なものを取り払い登場)どうも…

弟 ヒー(気絶)

男 はえーよ!(抱え)出てすぐヒーって、なんだ、あれか、こはシヨッカーのたまり場か

男2 (中途半端なシヨッカーの格好で登場)ヒー

男 誰だお前は!

男2 (退場)

男 えーなにこれ…(弟の顔を見て)つか、お前…

暗転

3. 診察

SE

明転

椅子に座ってうなだれている人

弟 うん?(目を覚ます)あれ…姉さん、みーちゃん、起きて、大丈夫?

妻 (起きて)キヤー、キヤー!

弟 姉さん、姉さん、違う違う、オレ、ヒロシ！大丈夫

妻 ヒロシさん、え？

弟 いや、たまたま近くまで来たから…みーちゃんも大丈夫

娘 おじちゃん

弟 そうそう、ヒロシおじちゃんだよ、大丈夫？

妻 私、どうしたんだろ…おかしな幻を

弟 オレも見た

娘 うん…

弟 みんな？いやーびっくりしたよね、腰抜けたもん、あんなの急に…まさかね…

弟・妻 あははははははは…

弟 いないよね、亡霊だよね…

弟・妻 あははははははは…

妻 でも…確認しない？

弟 いいよ…まさか…する？

妻・娘 うん

3人 恐る恐るベットの方向向かう。布団をはがすと男が寝ている。

3人 ほー

男 かー！(起き上がる)

3人、ばらばらに飛び散り、ふるえる

3人 ワナワナ…ワナワナ

男 何々？ワナワナって、何だお前らそのリアクション、え、おかしいだろ、寒いのか？そう、君いいね、その笑顔、最高…でも誰？近所の子？ま、いいや、何々、どしたお前ら
弟 兄さん？本当に兄さん！！

男 そうだよ、お前の兄貴だよ、どしたの本当…しかし、老けたなヒロ、お前に何があったの！ねえー恵子もさ、どしたの、小ぶりの玉手箱開けちゃった…ま、いいや、恵子メシ、腹減っちゃった…

間

男 どしたお前ら…変だぞ

弟 姉さん、高木さんに電話して

妻 うん

男 何？

弟 早く！

男 誰？

妻 (退場し声)もしもし、あなた、今から来れる？大変なの、何って言うか電話じゃ話せない、とにかく来てお願い、うん…(登場)

弟 来るって？

妻 うん

男 誰かくんの…ま、なんでもいいや、とにかくメシー腹減っちゃって死にそう
妻 (奥へ)

弟 兄さん

男 何だよ

弟 本当に兄さんだよ

男 あたりめーじゃん…恵子ビールもな！

弟 じゃ本当に兄さんだつてこと証明して

男 はあ？何だそれ

娘 これでも食らえ！（割り箸を十字にして男にかざす）

男 や・め・ろ…と・け・る…ってなんだよ、バンパイアか俺は！

弟 そのノリ突っ込み、どうやら本物のようだね…

男 何本物とか、オレのそっくりさん出没中？ええ…て研ぐな、笑顔で研ぐな君

弟 何も覚えてないの？

男 何もつうか…なあー

妻 （ビールとかき。ビールを持ち登場し、男の前に置く）

男 注げよ

妻 （手が震え、ビールがかなりこぼれる）

男 ちよよよよよ、ちよ、もったいねーじゃん、いいよ俺やるよ…しかし、本当老けたなお前ら、一気に10才くらい老けたんじゃね…

間

男 どうしたの？

妻 そう

男 え？

妻 10才老けたよ

男 何だそれ…

弟 兄さんの言うとおり

男 だからよー

弟 僕は全員この才年を取った

男 だから冗談だって

弟 本当の話さ

間

男 え？何この空気？え？

弟 鏡見たら

男 鏡って…

3人 (一斉に各自の手鏡を出す)

男 いやいや、なんで持ってたんの！(見る)ええ、ヒゲ！

弟 体はなんともない？

男 体？まーなんとなくだるいかな、ふらくつ？うん

弟 当然だよ、だって兄さんは…

3人 10年間眠ってたから！

男 ブー(ビールを吐き出す)はあ？何言ってるんのお前ら、声揃えて

妻 本当

男 ええ…

妻 この子

男 え？

妻 誰だかわからない？

男 えええ…何だよもう、ええー

間

男 まさか？ってわかんねーよ…誰

妻 美世子だよ

男 え？

軍艦マーチが流れる

娘 ポケットから大きなキャンデーを出し上にかざす

軍艦マーチがやみ、元の場所へ戻る

男 おいおいおい、おいつてーえええええ、そんなバカな話…

間

男 なにシーンとしてんの、え？何この空気…

間

男 あー今日あれか、びっくりパーティーか何かか？な、特殊メイクだろそれ、ルーカスの、もう、やるならよーもつとでじいとかはばあにしてくれないと、こっちもノリずらいじゃん、はい、もう降参、参りました！すっかり騙された、カメラどっこカメラ、大成功とか持ってくんじゃねーの、お前のぐうさいくなみさんが…

間

男 何だよ、冗談だよ、何か言えよ、おいつて(ピーナツを弟と妻に投げる)鬼は外！福は内！福は内！(ピーナツを全て投げつける)何か言えよ！何だこれ

間

男 えええ…だってミー子だよ、こんな小さくて、不二家のキャンディー大好きだよ、アメやってりやなんでも言うこと聞いて…ええええ

娘 (笑顔で)15才

男 聞いてねーよ、笑顔で言われても…15才？

娘 うん

男 15才って、そりゃー、5足す10は15だな、でもお前…あれこれ夢か？オレ夢みてんのか？

3人 床に散らばったピーナツを拾い出す

男 えー、いやいやいや、えー、10年間眠ってたって、眠りすぎだろそれいくらなんでも

3人、一斉に鏡を出す

男 ひげ！

3人 (鏡をしまう)

男 わかった、わかった、じゃあ百歩譲ってお前らが正しいとしよう、な、ま、ありえないけど俺は10年間眠ってたとする、それで、いいよ、で、何この空気は…なんかおかしくねーかこのテンション、なあ、めでてーじゃね

「か、10年眠り続けた俺が今日目を覚ました、おめでたじゃねーか、な、万歳！万歳！お手を拝借、万歳！やれよ！！」

パパ（登場）あれ、みなさんで落穂拾いですか？あ

妻 あなた

娘 パパ

男 あな？パパ？

妻 実は、これが、これで

パパ そつ、とりあえずベッドに運ぼう

全員で男を持ち上げる

男 ちよちよちよちよ、なにすんだよ！

パパ（バックから注射器を出し）ちくつとします（刺す）

男 すー（寝る）

全員 男をベッドまで運ぶ

パパ（水平器等で主にベッドの角度を調べる）…とりあえず問題ないよだけど、明日病院で精密検査を
妻 お願い

会議 一

おかしな空気

娘 ふふふ

妻 美世子？

娘 ふふふ(自分の部屋へ行くように退場)

3人がダイニングに残る

妻 取り合えず、お茶入れるね…(奥へ退場)

弟 どうもすみません…こんな事になってしまって

パパ いや、ヒロシ君が謝ることじゃないよ

弟 でも

パパ 本当はいつ目が覚めてもおおしくなかったわけだし、そもそもどうして眠ってしまったのか、どうして目が覚めないのか、現代の医学では説明できなかったんだ

弟 でもなんで今頃…本当無責任なんですよ昔から、周りに迷惑ばっかかけて、平気な顔して、忘れてましたあの人の性格、10年経ってもなんにも変わってない

妻 (登場、お茶を配り座る)はあー

みんな無言でお茶を飲む

妻 どうしてよう…

弟 もうなんかいきなりすぎてわけわかんないね

妻 こめん…

パパ 恵子が謝ることじゃないよ

妻 でも…なんで今頃、本当無責任な人なの昔っから、周りに迷惑ばかりかけて、平気な顔して…

弟 姉さん、それさっきオレ言った、全く同じこと

妻 そう…じゃ以下同文

妻 はあー

妻・弟 はあー

妻・弟・パパ はあー、どうしよう

男 てやんで、ばーろー、ちくしょう

妻 何？ちびた？

男 てやんで、ばーろー、ちくしょう、てやんで、ばーろー、ちくしょう、てやんで、ばーろー、ちくしょう

パパ まずい、発作だ！

3人 ベットへ

パパ 抑えて(バックから注射器を取り出し)今度は目に…！

男 やめろよ！やめろ！離れるバカ野郎！放せ！いいから放せ！そして離れろ！

3人 離れる

男 目ってなんだよ、死んじゃうよ俺、なんだお前らさっきから、聞こえてんだよ、全部聞こえてんだよ…さ

つきから聞いてりやなんだよ情けねー、わかったよ、わかったよ、大体现状理解した、10年か何年か知らねーけど、結構な時間眠ってたわけだな俺は

3人 うんうん

男 で、今日、目を覚ましたと

3人 うんうん

男 つまり眠りっぱなしだったわけだ、眠り姫みてーなもんだ、なあ

3人 うんうん？

男 めでてーじゃねーか、おめでたじゃねーか、せーの、万歳！ってやれよ！何、違うの？。10年間眠り続けた男がだよ、ようやく目を覚ましました、奇跡が起きました、せーの、万歳！ってあれ？万歳なしよ？

3人 う、うん…

男 う、と、ん、だけで済ますな、喋れ！…なあ、横田さんじゃん、横田さんみてーなもんじゃん、オレは、なあーで、その横田さんが、帰ってきた「はずかしながら帰って来ました」とか言ってたぞ、そんな、そんな横田さん迎える家族が、「どうしようってなんだ、ため息とかねーだろ、グレるぞ、横田さんグレて、日サ口行くぞ！

弟 そういやー横田さん今なにしてんだろ？

妻 ゲートボールとかしてるのかな？

パパ 横田さん元気だといいいね

弟 基地の守衛とかしてるかもね

妻 横田基地つながりで

パパ ヒロシ君上手い！

3人 横田さん、何してますか！

男 合わせんな！もりあがんな横田さんで、違うだろ、俺の話！もう起きるぞ、オレ！（起き上がりダイニ

ングの方へ)なあ、10年間眠り続けた俺がだ、ベッドの中でもがき苦しみ続けた俺が、ようやく目を覚まし
ました！はい行くぞ、せーの万歳！

間

男 えええー

弟 (男をびんたする)…いい加減にしろよ

男 えええええ…

弟 兄さんはただ寝てただけだろ、その間、姉さんが、どれだけ苦労したか…10年だよ、ただ眠ってる男の
面倒をみてきたんだ、その大変さがわかる？兄さんにわかるはずないよ、何が万歳だよ、何がおめでただよ、
誰もそんな気分じゃないの、はつきり言ってね

妻 ヒロシさん！いいから

弟 でも

男 なんだよヒロシ、言いたいことあんなら言えよ！

弟 ああいつてやるよ

妻 ヒロシさん！(ほほをたく真似をする)

弟 姉さん…(頬をさする)

男 叩けよ…いや痛くない、痛くない、だつて叩いてないし…

パパ 取り合えず今日は休みませんか…みんな突然のことで、ねえ…明日から精密検査もしますし

妻 …そっね

弟 わかりました

(帰る感じ)

男 おうおうおう、その前にひとつだけいいか

パパ はい？

男 あんた誰？

パパ え

男 名前なんつーの

パパ 高木です

男 じゃ下の名前は、あなたか？「高木あなた」ってんだ？

パパ いいえ

男 あれ、おかしいな、空耳か、お前さっき「いつのこと」「あなた」って呼ばなかった

妻 …

弟 兄さん！

男 じゃあれか、高木パパだ、そうだとろ

パパ いいえ

男 あれあれ、おかしいな…聞き間違えか？あ、そうかも、10年間も眠っていると耳垢とかな…

パパ 聞き間違いではないと思います

男 おかしいじゃねーか、10年前のオレの世界じゃよ、あなたとか、パパとか呼ばれる奴はよ、たいてい一人だった、10年経つとあれか、もう、そういうあだ名、なんでもありか、流行ってるの、それ

弟 そんな呼び方流行ってもいないし、今の世界もパパとかあなたって呼ばれるのは、一人だけだよ

男 …ほうー

妻 とりあえず帰って

パパ でも

妻 いいから、帰って、ヒロシさんも

弟、パパ退場

男 なんだこれ…

妻 10年経ったの

男 だからって…だからってよ

妻 話さなきゃいけないこと、たくさんあるけど、明日でいい

男 …

妻 じゃ、おやすみ

男 おやすみか

妻 え？

男 オしは眠ねーぞ、もう絶対眠ねーぞ！何だよそれ…目つぶって起きたら10年後って…あなたって好きにして(退場)

男 (テーブルをける)痛ってー

暗転

5. 会見

パパ (白衣を着て登場)

記者1 妻 2 娘 3 弟 トレンチコートを着て登場。「写るんです」で写真を撮りながら

記者3 Aさんの容体に変化は？

パパ いたって正常です

記者2 10年間昏睡状態だったという情報がありますが

パパ 昏睡…簡単に言うただただ眠っていたという方が正しいかもしれません

記者1 そんな事が本当にありうるんでしょうか？

パパ あったとしか申し上げられません

記者2 なぜ今頃になって目を覚ましたんでしょうか、なんらかの医学的要因は考えられますか？

パパ 現在調査中です

記者1 巷では、そういった宗教的な意味をAさんの復活に見出す向きもありますが

パパ 専門外ですので

記者3 Aさんの奥様と高木先生が婚約中との情報がありますが

パパ 個人的なご質問にはノーコメントで

記者2 その場合、Aさんの立場は？

パパ ノーコメント

記者3 先生の立場は？

パパ ノーコメント

記者1 最後に教えて下さい、Aさんが再び眠ってしまう可能性は？

パパ …わかりません

パパ、記者、退場

昼食

男 (カップ麺を持ち登場)その件に関してはノーコメントで…忠明さんそれ聞きます、ノーコメントで！違うな、ノーコメント！ノーコメント！これで行こう、ノーコメント…

娘 (いつのまにか登場し男の背後にいる)何してんの？

男 おおおお、帰ったのか、言えよ！早いな、半どん？

娘 (三三三)

男 ま、いいや、飯食うか、な、一人じゃ味気ねーしよ(奥へ行き、カップ麺を持って登場)座れよ…

娘 (その場に座る)

男 そこ！椅子、椅子

娘 (椅子へ)

男 いたか？

娘 何が？

男 何がって、マスコミ！忠明！

娘 何で？

男 何でって、おれ！時の人、あいつら本当ハイエナだな、怖い

娘 誰もいなかったよ

男 まさか〜(外を見る)あれ、いねーな、人っ子一人いねーな、なんで？

娘 さあ

男 だつて先週なんかすこかつたろ、ワイドショウ、おれの話題でよー…あれ？もうあの人は今状態？はえーなあいつら、驚いちゃうね…なんかよ、好きって告白されたとすんじゃん、で、最初そんな気なかつたけど、よく考えたらまんざらでもねーかってこつちがその気になった辺りで、もう女は別の男と腕組んでる、あれーみてえな、まいいよ、好きじゃねーよあんなブス、そんなもんだ、世間ってやつは…なあ、お前だけ、そうやってオレに微笑みかけてくれんのはお前だけだよ

娘 そう？

男 そうだよ、薄情なんだよあいつら、居座ったネコでも見てる目で俺見てくんだろ、嫌だね、さみしいね、情けないね、そこへ来るとお前は全然違うもん…な！オレのこと覚えてる？

娘 あんまり…

男 だよな、こんな小さかつたんだもん、5才だもん…お前の人生の…俺いねーもんな、寝てて…かー、おまけにパパできちやってるしな…もう食うのドンペイ？

娘 ふふふ

男 ま、いいけどよー、しかし癒されるはその笑顔、恵子もよ、お母さん、オレとであつた頃なんか、かわいかつたよ、パーと辺りが「電球替えた？」「みたいなの、明るくなつたもん、いまじゃ、もう豆電球？なあー歳月は怖いね…人をかえるね

娘 マママも笑うよ、パパの前では…

男　グサ！グサグサグサ！言うねお前も、笑顔で…学校は楽しいか？

娘　ふふふ

男　楽しいな、それはいいことだ…好きな奴とかいるの？

娘　(二三三)

男　いるな、その顔はいるな…このやろう…あのミー子かな…そうか、そうか、何部のキャプテン…ま、いいや、あ、そうだ、聞いたことあるか、お母さんに、オレとの馴れ初め…

娘　ない

男　じゃ教えてやる

娘　いいよ

男　聞けよ、聞いて、お願い

娘　じゃいいよ

男　かれこれ〇〇年くらい前だな、今もあんなかな？駅前のアークード、歩天？

娘　ないんじやない

男　ないか、まいいや、その当時はあつたんだよ歩天、もう週末なんかになるとな、すごいもうヤングでござったが、いしてな、何か売ったり、広げたり、チンドン屋なんかもいてよーもう凄かったんだ、うん…そこでオレも、アレだ、芸を披露してたわけだ！何だと思う

娘　別に

男　別になんだよ、何だと思う

娘　わかんないよ

男　つまんねーなお前も…

弟　(男の過去役で登場し)スプーン曲げます！(スプーンを床に広げていく)

男　そう、スプーン曲げだ！目の前にすらっとー先割れスプーンから、カレースプーンから、いろんなスプーンすらっと並べてよ

弟 あなたの選んだスプーン曲げます!!

男 受けたね、異彩を放つてた…それ来たのが、恵子、お母さんだ…

妻 (当時の様子で登場)

男 むっさい格好してな、同人誌かなんか売ってたなああれな

妻 どんなスプーンでも曲げれますか？

男 でオレは一言

弟 もちろんですとも

男 ですともとか言っちゃったもん、マジシャン気取りだったんだな、若かった

妻 じゃ、これ！

男 オレは恵子が指差したスプーンを取り、ゆっくり念じた、するとスプーンが曲がる

妻 凄い凄い、凄い凄い

男 食いついたね、周りが引くくらい食いついてきた

妻 どうやるんですか、それ

弟 お嬢さん、それは鳥に飛び方を聞くようなものです、蟬に鳴き方をたずねるようなものです

妻 ふーん

弟 あのつまりですね

妻 じゃこれは

弟 これですね…

妻 これも、これも、これも！

男 恵子はありったけのスプーンを指差した、そしておれはありったけのスプーンを、曲げた

弟、妻 (退場)

男 翌日なんかくらくらしたもん、念力の使い過ぎで…うん、それがオレとあいつの出会いだ

娘 ふーん

男 ふーんって、ロマンチックだろ、昭和だろ

娘 別に

男 別について…スプーン曲げしつてつか？お前、あ、知らないからだ、うん、ほらこの間映画にもなっただろ、長澤まさみちゃん出た、あーお前本物見たことないからな、感動が、伝わんないな…ちよつと待て、みしてやる、本物みしてやる(食器棚を探し)あれ、スプーンどこだ？どこにあんの？あれ…どこだ、しらねーか？

娘 これは曲がる？(へろへろキャンディーを出す)

男 …それは

せみの鳴き声

軍艦マーチが流れる

(回想シーン)

男 いいかミー子、よく聞け、お父さんちよつとお仕事行ってくるから、こん中で待ってる、出来るか？

娘 出来る！

男 よーし、いい子だ、そのキャンディーなめて待ってろ、大体な、それなめ終わる頃には戻ってくる、それまでじっとできるか？

娘 出来る！！

男 いい子だ、そうだ、何も触るなよ、危ないから、危ないってわかるか

娘 死ぬこと

男 そうだ、頭いいなーお前、本当いい子だ、じゃ、行くから、待ってろ、すぐ戻る、すぐ戻るから、それまで

軍艦マーチが高らかに鳴る

暗転

編集1

カメラのフラッシュ

明転

男2 (登場しカメラを取っている)

男 (テーブルに伏せて眠っている様子…しばらくして目が覚める)ミー子？あれ…ちよちよちよちよ！何してんのあんた

男2 お目覚めですか、すみません、何度も声をかけたんですが…

男 で、何

男2 私…こういうものです(名刺を出す)

男 文明社…

男2 本の出版を生業としております…これ出っ歯ですから、ドラキュラじゃ「ごんせん、よく言われるんです、子供の頃は伯爵なんてあだ名も…

男 ああー確かに「ドラキュラ」っぽい

男2 ね、出っ歯ですから…

男 で、何？

男2 10年間眠り続けて目覚めた男…

男 え？

男2 え？

男 あ、アレか？取材？あー困るよ、そういうの、アポ取ってからはじゃないと

男2 突然で失礼いたしました…で、どこまで進みましたか？

男 え、何が

男2 何がって…もう…

男 何の話だよ

男2 え？まだ書いていらっしやらない？

男 何を

男2 他所の出版社はまだ来ていない？

男 だから何がだよ

男2 小説です

男 小説、何だそれ

男2 それでは単刀直入に、田中さん、いえ、先生、我文明社と独占契約を結んでいただけませんか

男 ちよちよちよ、え、何契約って、何の、え？

男2 先生、あなたは「自身の価値について考えたことはありませんか

男 価値って

男2 現在出版業界大変な不況でございます。やれいじめだ、やれヤンキーだ、やれ障害だ、そんなちっぽけなバックボーンの間人がいっばしの作家気取りで出す小説、はいこれ全く売れません。小さいんだ、狭いんだ、そんな業界に嫌気がさしていた時です、「10年の眠りから目覚めた男」ピーンと来ました！これだ！私が求め

ていたバックボーンはこれだーうれしかった…先生、ぜひ我文明社と独占契約を…

男 いやいや先生って、契約？

男2 先生は選ばれた人だ、先生ほどのバックボーンを持った人間はほかにいません、そんな先生が小説を書く、はいこれ、売れないわけがない、売れない理由がない、この方程式わかりますよね

男 うーん、まあ、オレほどの体験は、ないわなー

男2 その通り！先生のつむぐ物語を読者は求めている、そしてそれはビジネスになる、先生も儲かる、我々も儲かる、その上読者は満足する、この方程式、わかりますよね

男 確かに、そうかもな…でもよ、ワリ俺小説とか書いたことねーし

男2 誰だって最初は素人じゃありませんか、小説家とは職業ではなくして生き様だ、と私は思います、そしてその生き様、バックボーンからすると、先生はすでに小説家、ではありませんか

男 …だな、名前なんだから、菊池？菊池お前いいこと言っ

男2 先生、小説を書いてください、いえ、先生の生き様を世に問う、そのお手伝いをさせてくださいませんか
男 うん、うん

男2 先生が今日覚められたことには意味があります、そして私が今ここでこうして先生といることにも意味がある、違いますか

男 菊池お前本当いいこと言うな、役者なれ、このやろっ

男2 いや…

男 よしわかった、俺も男だ、契約しよう

男2 ありがとうございます、これで我文明社、零細企業からの脱出を果たせます(携帯へ電話し)もしもし、菊池です、やりました、落としました、はい編集長、打ち上げ？まだ早いですよ、はい、それでは…(切る)あの編集長が、声裏返して…

男 で、さ

男2 なんででしょうか先生

男 野暮な話だけだよ、なんつーの、ギヤラ？的なもの、そういうの教えといてくんないな、こっつうのは先にしといたほうがさ…

男2 通常プロの作家先生ですと、一定の原稿料＋印税収入、という形になりますが、申し訳ございません、先生の場合は、今はまだ無名の存在ですので、原稿料といったものをお支払いすることはできません

男 うーん、まーな、それはそうだろう

男2 但し、小説が完成し、出版された場合、私の大雑把な計算ですが、先生の印税収入は三千万はくだらないかと…

男 三千？

男2 少なく見積もった場合です、最低ラインとしてその線は硬いかと

男 あ、そー、儲かんだ本って

男2 ですから先生には一刻も早く執筆に取り掛かっていただきたいと思ひまして、これを(原稿用紙と万年筆を出す)

この万年筆、私の祖父の形見ですが、お貸しします

男 いいよ、そんな大事なもん

男2 いえ、先生に使っていただきたいのです、先ほども申し上げたとおり、我文明社が零細出版社から飛躍する、私事ですが、先生へはそんな期待も込めています

男 そうか、わかった！任せろ

男2 ちえんちええ

男 気持ちわりーな

男2 期待しております…それでは一週間後に、書きあがった分だけで結構ですので

男 わかった

男2 そうだ、私としたことが大事なことを忘れていました、先生ひとつだけお約束していただきたいことが男何、何

男2 今回の件、つまり先生が小説を書いているということは、誰にも明かさないでいただきたいのです。特に親しい方、ご家族、ご友人には

男 ま、いいけど、なんで

男2 先ほどもお話した通り、この小説は先生の生き様、バックボーンが強く活かされてこそ、意味があり価値が生まれます、往々にして素人、ご家族やご友人が、そのことを知るや否や、アドバイスと名を変えた己

の思想、意見を反映させたがるもの、私はそれを恐れます、純粋な原石に不純物が混入することを恐れます、ですから、このことは、そうですね、本が出版されるまで、誰にも話さないでいただきたいのです。この方程式、わかりますよね

男　　だな、よくわかる、もうオレの周り陳腐で、けちな野郎ばかりだからな…それ聞いてよかつた…おう、誰にも話さねー約束だ

男2　　ありがとうございます…それでは、一週間後に再び(退場)

8. 人形

男　　(もらった原稿用紙を広げている)

ダイニングでは、弟と妻が登場し、なにやら相談している様子

娘　　3つ目の空間に指人形を持って登場、人形の声と娘の一人二役

人形　　おいおい、どうしたんだい、ミーちゃん

娘　　何が？

人形　　浮かない顔して

娘　　そんなことないよ

人形　　ため息なんかついて

娘　　なんでもないよ

人形　　心配事かい？

娘　　だから…

人形　　何でもない？

娘　　うん

人形 おかしな感じだね、みんな

娘 …

人形 みーちゃん

娘 なあに

人形 なんでもない

娘 なにそれ

人形 みーちゃんの真似

娘 もう！

人形 あの人の事だろ？

娘 え？

人形 ごまかすなよ

娘 うん

人形 すごいよね、まさか起きるとは思わなかったもん

娘 だよね

人形 起きた途端、うちの中しっちゃかめっちゃか

娘 うん…

人形 本当は、うれしい？

娘 うーん…

人形 うざい？

娘 うーん、微妙

娘 くまくん？

人形 なあに

娘 例えはとっても知りたい答えがあつて、でもその答えを知るのが、とっても怖いとき、どうする？(返場)

男 立ち食い蕎麦屋の隣に古びた本屋がある。その隣に八百屋で、そのまた隣では婦人服を売っている。しかし客は一人も来ない。一体この商店街はどうやってメシを食っているのか…とその時である！とその時である…！違っな…

弟 兄さんの様子どう？

妻 昨日から部屋にこもりっきりで

弟 何か言ってた、これからのこと

妻 うんうん

二人 はあー(ため息をつく)

男 満員電車は狼の巣だった…うん？…満員電車は狼の巣である。そこへ一人のエサ、エサって書いて女と、そこへ一人のエサが投げ込まれた！獯猛な狼達は、エサめがけ、あるものは強引に、あるものはソフトタッチで、襲い掛かった！アン…アン…アンってエロ小説？行ける？

弟 全くのんきなもんだよあの人、とにかくきちんと話さないと

妻 うん…

弟 本当さびしつと言わないと、駄目なんだよ、それじゃなくても鈍いんだから

妻 そうなただけどね…

弟 任せて

男 ああーわかんねー、まだなんか降りてこないな、うん、ま、昨日の今日じゃな、さすがのオレも敵しいかな…うん

弟 兄さん、兄さん！

男 おう、何だ

弟 ちよつと話があるんだ、こつち来てくれる

男 何だよ、オしもやることあんだよ

弟 いいから、来て

男 後にしろ

弟 いいから来て、早く！

男 はいはい（原稿用紙を隠し、ダイニングへ）

男 何だ！

弟 座つて

男 （その場に座る）こつこつ

弟 そこでいい…兄さんさ、これからのこと、どう考えてんの

男 いろいろ考えてるよ、あ、まだいえねーけどな

弟 はつきり言っけどさ、兄さんは、こつこつにいちやいけな

男 何で？

弟 それくらいわかるでしょう、姉さんだつてね、本当は今頃、高木さんと一緒になつてははずだったんだ

男 オレが寝てるまにか

弟 しょうがないだろ

男 何がしょうがねーんだよ

パパ （登場）遅くなりました…あれ

妻 お茶入れるね（退場）

パパ どつしてそこに？

男 ふん…

弟 いいんです

パパ その後、気分はどうですか

男 …
弟 兄さん！

男 さつきまではよかったけどな…

間

妻 (お茶を持ち登場し、配る)

パパ (書類を出し) 今日ようやく検査結果が出まして…どこにも異常はみつかりませんでした、全て正常です…つまり完全に健康体です

妻 よかった

男 ふん…で??

パパ はい??

男 で、出て行ってってわけか…

パパ いや、そういう意味では

男 そう聞こえちゃうなオレには、「健康です」「よかった」何がよかっただよ、なんだこの茶番は、え、お前らよってたかってよ、オレを追い出すことしか、無いわけ? かなしい奴らだな…口開けば、どうするだ、出てけたため息だ、何だ本当、この2週間、一回でもよ「おかえり」的な言葉はないわけ? 大変だった、10年間、わかるよ、でもよー血の通った人間だったらだ、一言、一言でいいよ、温かい言葉、笑顔、あつたつていいんじゃない…ミーン子だけだ、娘だけだよ、オレに「ニコニコしてくれんのは、血のつながりつてのは偉いね、記憶なんかなくて、ただ眠つてた親父でもさ、わかるんだよ本能で「あ、お父さんだ」って…泣けるなこれ、あいつの笑顔見るとさ、癒されんもん、ああ、オレがなんとかしなきゃなつて、俺がまもんなきやなつて、そうだよ、でだ、何で俺がここ出てくつて話になる、なあ、お前ら俺が寝てる間に勝手に勝手にくつただけだろ、恥を知れ恥を、出てくんならお前らが出てくべきじゃないの、それが筋だろ、オレはどこへも行かぬぞ、できて行きたきゃ出たよ、お前らが勝手出てけ! オレは娘と残るぞ! 大体な、オレが今日を覚ましたのにはちゃんと意味があるんだ、理由がある、目的がある、ずっと考えてた、俺が今日を覚ました意味を、ははーん、もしかするとそれだ、娘を守るつー目的だ、こんな恥知らずの親から、オレが娘を守るつうのが、真の目的だ

妻 あははは

弟 あはははは

パパ あはははは

男 あははは

妻、弟、パパの順で男をドンタする

男 えええ、何だよ、ぶつことねーだろ

妻 何言ってるかわかってるの

男 わかってるよ

妻 美世子があなたになつてゐる？

男 そうだよ

妻 あなたが美世子を守る

男 そうだ！

妻 冗談も休み休み言つて

男 はあ

妻 覚えてないの？本当に忘れたの？

男 何を

妻 あの日のこと、あなたが眠ってしまふ前のこと

男 なんだよ

妻 10年前の夏

せみの鳴き声

妻 あの年は記録的な猛暑で…当時仕事をやめたばかりのあなたは一日中家に居た。私は仕事があったか

ら日中美世子の面倒はあなたがみていた

(回想、パパⅡ父、娘Ⅱ弟 になりきり寸劇)

パパ あっつー

弟 あっつー

男 なんだ、なんだ？

パパ しかしあっつーなミー子

弟 しかしあっつーなミー子！

パパ ミー子はお前だろ

弟 ミー子は私だ！

パパ そうだよ、お前頭いいな…俺似だなさういうとこ、しかしあっつー、どうか行くか
弟 行く！

男 きもいぞ、ヒロシ！

パパ 確かこの辺に…(食器棚の辺りを探し)あった！

弟 何、何、見せて

パパ じゃ、じゃーん(一万円を出す)

弟 紙のお金だ！

パパ そう、子供が使っちゃいけないお金だ

弟 それどうするの

パパ 増やす！

弟 増やす！

パパ いいかミー子、お金つてのはな、ここにこのままおいといても、ふえねー、いつかなくなっちまう、だから増やす努力をしなきゃいけね、わかるか

弟 わかる

パパ 偉いなお前は、なんでもわかっちゃう

弟 ミー子、いい子

パパ だな…よし、じゃ行くか！

妻 あなたは美世子を連れて出かけた…覚えてるでしょう

男 …

軍艦マーチが流れる

男2 (店員のような衣装で登場)お子様連れのご入場はお断りいたします

男 誰？

パパ、弟 舞台にあるテーブルと椅子を車内に見立てる

パパ いいか、ミー子よく聞け、お父さんな、これから、お仕事に行ってくる、子供が来ちゃいけないお仕事だ、わかるか？

弟 わかる！

パパ よーし、いい子だ、お父さんのお仕事が終わるまで、ここでじっと出来るか？

弟 どれくらい

パパ …そうだ、これやろっ(ペロペロキャンディーを出す)お前の大好きなペロペロキャンディーだ、うれしいか

弟 うれしい

パパ それなめて、じっとして待ってろ、なあ、そのキャンディーなめおわる頃には帰ってくる、出来るか

弟 できる

パパ よーしいい子だ、あ、噛むなよ、ゆっくりなめるんだ、味わうように、ゆっくり、そうすりやそれまでにお父さんは帰ってくる、な

弟 うん

パパ じゃ、行くから、あれだ、絶対何にも触んなよ、危ないから、な、危ないってわかるか

弟 死ぬこと

パパ そうだ、偉いな、いい子だ、じゃ、待ってる、何にも触らないで、そこでじっとして、な、出来るか

弟 出来る

パパ いい子だ！じゃ、待ってる(退場)

妻 美世子を一人車に残して、あなたは出かけた…覚えてるでしょう

軍艦マーチが高らかになる

男 エアコン！

妻 え？

男 エアコンは、付けといたぞ…だって、外はひでー暑さだ、オレだってバカじゃねー、エアコン付けて、暑くねーよーに…

妻 あの日もあなたはそう言った

舞台上にパチンコ玉に見たてた風船がいくつも登場

妻 美世子はあなたの言いつけを素直に守っていた、パパが何も触るなって言うから、何も触らず、ここで待ってるって、じっとしてろって言うから、そこに居た、どんなに暑くても、そこに居た

男 あつーわけねーだろ！エアコン付けといたんだ、暑つーはずねーだろ…まさか、あいついたずらして、なにやっつてんだよ

妻 エンストだったの

男 え？

妻 ガス欠でエンジンが切れたの

男 ……そんな

妻 美世子は何も触っていない、パパの言うことを守ってた、そしてエンジンもクーラーも切れた車の中で、あの夏、美世子はひとりぼっちだった…あなたを言ういい子じゃなかったら、すぐに外へ出て、パパを探しにいったかもしれない…さうなんだからそれくらい出来たかも知れないのに、美世子はずっとそこであなたを待ってた

男 そんな

パパ (登場し、風船を辺りに散らす)フイーバーフイーバーフイーバー

男 やめろ！

妻 警備の人の発見がもう少し遅れたら、美世子危なかっただろうって…そのまま救急車で運ばれて、美世子あれからしばらく入院したの

男 オしてつきりミー子がいたはずらして

妻 退院して体は元に戻った、でも、感情はテレコになった

男 テレコって…

妻 よっぽどこわかったんだらうって…先生が、人ってね、とっても怖い経験をする、心が壊れてちゃうんだって、美世子の場合は感情がテレコに

男 テレコってなんだよそれ

弟 感情がテレコなんだよミーちゃん

男 だからテレコって何だよ…

パパ 心と体があべこべなんです…悲しい時に泣けない、うれしいときに笑えない、つまり感情と裏腹の表現しかできないんです

男 そんな

弟 僕と姉さんは、すぐ病院に駆けつけた…「何してたんだよ兄さん！」

男 「…あいついい子だから」

弟 「何で一人にしたんだ」

男 「エアコン付けて」

弟 「関係ないだろ、エアコンとか関係ないよ…あんたどこまでバカなんだ、どこまでバカなんだ！ミーちゃんにもしものことがあったら、どうすんだよ、兄さん！」あの日、思いつく限りの汚い言葉でオレは兄さんを責めた

男 ミー子、オレの言うこと聞いたばかりに…

弟 そのうち、兄さんは何もしやべらなくなつて、ふて寝でもするように布団を頭からかぶつて、そのまま眠り続けた…

最初は逃げたんだと思った、都合悪いことから逃げ出したんだと思った、でも時間が経つてね、もしかして兄さん、自分を罰しているんじゃないかって、そう思えてきたのに

男 テレコつたな…じゃ、ミー子がオレに笑ってくれたのは…

弟 怖いとか

パパ 怯えとか

妻 不安とか

男 そんなバカな話、そんなバカな話ねーだろ！何か言えよ、何か言えよ

3人の動きが固まったまま、動かなくなる

男 テレコつて…じゃああれか、ミー子がうれしくて笑うことはねーのか？おかしくて笑うことは、楽しくて笑うことはねーのか！あれからねーのか

3人固まっている

男 そんな話…そんな話信じねーぞ！オレは信じねーぞ…おい、おいって！お前らなんか言えよ、嘘だつて

言えよ

暗転

9. 寿司

男だけが、ダイニングにいる

男2 (登場) どうされました…先生!

男 おお…

男2 浮かない顔で

男 いや、いろいろあつてな…あ、もう一週間か…わりまだ殆ど出来てねーんだ

男2 煮詰まつていらつしやるようです

男 まあー、なー、むずかしいわいろいろ、

男2 気分転換に外へ出てみては

男 外ね…

男2 あまり部屋に籠ってばかりでも…

男 試してみるわ…

男2 肩でももみましようか?

男 いやいい…

男2 じゃ足でも

男 わりーちよつと一人にしてくれ

男2 はい、それでは、また一週間後に…(退場)

娘 (登場)

男 おお、お帰り…今日も半ドン?

娘 (二〇二二)

男 わりーわりー、変なこと聞いた、な、ごめんごめん、腹減ったなメシまだだろう、なんか食うか

娘 (ぺろぺろキャンディーをおもむろに出す)

男 それはいいそれはいい…な、たまには寿司でも取るか(反応の見る)

娘 (無表情)

男 好きだな寿司は、よしよし…並でいいか?

娘 (二〇二三)

男 上だな、特上にしよ

娘 (無表情)

男 よしよし、電話帳は…(探し、見つける)なに寿司がいいかな…これでいいや、あれ、電話どっけ

娘 貸す?

男 電話持ってるのお前

娘 うん

男 そう…(電話する)もしもし、中野町2丁目の田中ですけど、特上2人前、超特急で、お願いします…すぐ来るって…寿司はいいよな…何好き?

娘 いくら

男 バブー、バブーか

娘 ふふふ(笑う)

男 ごめん、ごめん、そういうのじゃないな…違うな、これ違う

間

男

娘 あれ、さびぬきって言わなかったな、電話しねーと、オレとしたことが

男 食べれるよ

男 え?

娘 わさび好きだし

男 ……そうか

娘 うん

男 そっかー…だよな…

間

娘 ふふふ(笑う)

男 どした?

娘 ふふふ

男 オしなんか変なこと言ったか

娘 部屋にいる…

男 おう、だな、着たら呼ぶから、お寿司だよって、特上だよってな

娘 (退場)

男 (スプーン曲げをするときのように強く念じるが、何も起きない。辛くて、テーブルを叩く)

暗転

10. 捨猫

舞台に大きなダンボール、その中に、ネコがいる。

男、食べ終わった寿司の器を持ち登場

男 うん? だれだこんなどこにココロ

ネコ ニャー

男 え？

ネコ ニヤー(ダンボールから手足だけを出す)

男 えー何お前、ダンボール？ネコ？

ネコ (紙に書いた文字のような肉球の暗号を渡す)

男 フム、フム、フム、フムって読めねーよ！何この肉球

ネコ ニヤー

男 なんだ、捨猫か？しー、しー、誰だよ、人の家の玄関に、たつく…(ダンボールを遠くにやる)

ネコ (去ろうとする男に)ニヤー、ニヤー

男 駄目駄目、家は駄目、無理だって

ネコ 一軒家だニヤー

男 え、喋った？ま、確かに家は一軒家だけど、アパートとかそういうのじゃないけどな、駄目なもんは駄目

ネコ そこをニヤントか…

男 また喋った？

ネコ ニヤー

男 違うか…つうかかわいそうだけどさ、無理、もうそんな目で見られても無理…

ネコ つうつうつうつう…

男 いやいやいやそんな泣き方されても無理よ

ネコ (土下座的な動き)

男 いやいやいやそれ土下座にもなってるし、だから無理だって、つーかお前ネコ、ダンボール？

ネコ (立ち上がり、男の前に立ちふさがる)

男 だけよ

ネコ (どかない)

男 だけって

ネコ (どかない)

男 だからよー

ネコ (赤い頭巾を出す)

男 何、これ、どうすんの、被る？え(被る)
ネコ たのんますよ旦那
男 喋った！本格的に喋った！いつあれ、なんで
ネコ そいつのおかけですよ旦那
男 え？これ？
ネコ きき耳頭巾ってご存知でしょう旦那
男 昔話の？
ネコ それ的な、ネコ耳頭巾チックの
男 そうなんだよって、え！
ネコ あ、でもそれ、一人に使えるのが一生で3分だけなんで、早速本題に入りましょう、ここであつたのも
何かの縁、旦那、あつしを拾ってやって下さい、たのんます
男 だから、無理なんだって
ネコ メシもそんなに喰らいません、でっかい図体の割りに少食だなんて、仲間からも評判のあつしでござい
やす。おかしなビヨウキもござんせん、確かに、誰の腹から生まれたかも定かだねー、血統なんてものとは無
縁の雑種のネコでございやす、が、そんじょそいらの野良に比べりゃー、忠義心の厚いネコでございやす、ここ
で出会つたもニヤニカの縁、旦那、どうかあつしを旦那の所のネコにしてやってください！どうか、どうか、どう
か
男 よく喋るねお前
ネコ 旦那、ネコは嫌いですか？
男 まーどっちかつつと犬派かな
ネコ ワン！ワン、ワン
男 ネコじゃんお前
ネコ ワン、ワン、ニミ掘れワン！
男 昔話好きお前
ネコ 旦那のお望みでしたら、ワンでもよつござんす、ニヤー禁止の方向で
男 いやいやそつう問題じゃなくて

ネコ 社長！メイヤー！メイヤー！メイヤー！

男 おだれられてもさ…

ネコ プレジデント！イエス、ウイー、ニヤン

男 だからな、そういうことじゃなくて、オシさ、今、そういう状況じゃないわけ、なあーお前オシでさえ、息殺して家ん中いるってのに、そんな状況で、お前拾ってみろ」また問題起「して」とか「いい加減にして」とか言われんの目みえてんもん

ネコ ー飯もあんまり食べません

男 だからよ…

ネコ 決まった所でトイレもします、爪なんか…切ります！深爪にしますんで

男 あのな…

ネコ 居場所がほしいんです

男 え？

ネコ ただいまって帰ったら、お帰りって、そんな場所が…それだけありや、あつし

男 ただいまつたら、おかえりって？

ネコ うんうん

男 そんな天国みてーな場所、オレにもねえーんだよ

ネコ え？

男 わりーな

ネコ じゃあ

男 うん？

猫 あつしが待ってますよ！旦那が帰ったらお帰りって、ね、これならいいでしょう、おあついでしょ、あつしが待ってます、ほらほら

男 何

ネコ ただいまって

男 え？

ネコ ーうんうん…

男 えええ

ネコ ニー、ニー

男 ……ただいま

ネコ お帰り

男 ただいま

ネコ お帰り………ただいま！

男 え？

ネコ そこで、お帰りって！旦那の番、行きますよ、はい、ただいま

男 ……お帰り

ネコ ただいま

男 お帰り

ネコ ただいま

男 お帰り

ネコ ただいまー

男 あれ、時間？（頭巾を取り）

ネコ ニヤー

男 ……もう、しらねーぞ

ネコ （へこへこ頭を下げている）

男 しょうがねーな

ネコ、男 （退場）

1. 期限

男 （そわそわとしながらダイニングの椅子に座っている、何かダンボールネコを、大げさにしない方法を考えている）

ネコ (巨大なダンボールの中に収納されている)ニヤー

男 し！ええと…(ダンボールの横に、タバコを置くが逆にダンボールの大きさが強調される始末)デカ！ダメダメ

男 (ダンボールにテレビの絵を描く)買って来たんだ、プラズマ、うん！いやいや

ネコ ニヤー

男 し！し！し！なんか被せるか(退場しテーブルクロスを持ち登場し、掛ける)いやいや…

妻 (登場)なにしてんの？

男 え？いや…何だろう

妻 何これ？

男 ダンボール？うん

妻 どしたの

男 どうしたっていうか…拾った？

妻 何で？

男 いやなんで…つうか

ネコ ニヤー

妻 え？

男 ニヤー

妻 え？

男 え？

妻 とにかくどけてよこれ、邪魔だし

男 おうおう、だな…(動かす)

ネコ (動く度に)ニヤー…ニヤー

男 ニヤー

妻 さつきから何、ニヤーって

男 ニヤニヤ？

妻 え？

男 え？

妻 変な人

男 お前アしだよな…動物、好きだったよな

妻 え！

男 好きだったろ、ほら、あのネの付く動物とかさ

妻 ねずみ？嫌い嫌い

男 ねずみじゃなくて、ねずみじゃないよ、あれ動物か？ほらもつと、ネの付くポピュラーだよ

妻 ね、ね、ね…熱帯魚？

男 あえて？そつち来ちゃった？しりとりチャンピオンお前？

妻 何？ネコ？

男 そうそう、ネコだよネコ、好きだよなお前、ネコ

妻 うーん、どっちかって言つと、犬派？

男 犬だよな！

ネコ ワン！ワン！

妻 え、何？それ？

男 え？

ネコ (段ボールから手足、頭を出す)

妻 キャー！キャー！何これ？

ネコ ワン！

妻 ワンって？え！段ボール？え？何これ？

男 何だろ？なあ

妻 何だろ？って、拾ってきたのあなたでしょ？

ネコ わん！あん！あん！

男 あ、犬か？犬だこれ、犬だよな、お前

ネコ あん！あん！

男 犬だ、犬、お前の大好きな犬だ、フリスビーねーか？試しに投げてみよう

ネコ あんあん！

娘 (無表情で牛乳を入れた皿を持ち登場し、ネコに飲ませる)

妻 おかえり

娘 どうしたの、この段ボール

男 いや…なあゝ

娘 かわいい段ボールだね(無表情で撫でる)よしよし

ネコ コロリヤゝゝゴ、コロリヤゝゝゴ

男 (咳ばらいをする)

ネコ ワン、ワン、ワンワン！

娘 飼うんでしょう？この段ボール

妻 ええ…まず、これが、何なのかはつきりさせない？

娘 なんでもいいじゃん、かわいいし、飼おうよ

妻 でも…

男 いいじゃねーか、娘がこゝまで言ってきたんだ、認めよう

妻 認めようってあなたが勝手に持ってきたんじゃない

ネコ あんあん！

娘 (撫でる)コロリヤゝゝゴ、コロリヤゝゝゴ

妻 もう…仕方ないわね、美世子が世話するならいいよ

娘 する！

男 しつかりな！

娘 部屋に連れてくね(ネコと退場)

間

男 子供つてのは、動物が好きだな…うんうん

妻 はー

男 悪いーな、変なもの拾ってきて…

妻 美世子がいいならいいんじゃない

男 うん…あのよ…

妻 うん？

男 オレもいろいろ考えてよ…

妻 うん

妻 やっぱ、アレだ、オレ、な、お前のこととか、ミー子の事とか、いろいろ考えると、アレだ、オレがここに
いるのは不自然だ、なあ、ジグソーパズルみてーなもんがあつてよ、はまんねーのに、無理くり、はめてるみてー
な、そんな違和感だ、うん、だからオレは近々、出てく…

妻 え

男 お前らのためにも、オレのためにも、それがベストだ、なあ、ただ、あれだ、一ヶ月、そこまでかかんねー
かもしれねーけど、あと少しだけ、ここに置かせてくれねーかな、今ちよつとな、やりかけの事があつてよ、そ
れ終わつたら、きれーさっぱり出てくから、もうお前を悲しますことはしねー、だから頼む

妻 …

男 何かは言えねーけど、みんなのためになることだ、だから

妻 いいよ

男 本当か！

妻 うん…この間は、ゴメンネ

男 何が？

妻 いろいろ言っちゃって

男 いいさ、本当のことだ、お前が謝ることじゃねえー

間

妻 見つかるといいね…

男 え？

妻 本当に

男 …ああ

妻 …こはんまだでしょう、何か作るから(退場)

男 …

BGM

男、ベッドの空間で、原稿用紙に向かって書いている。
等々
時間経過の描写

13. 寸劇

男 (辺りに撒き散らした原稿用紙を集めながら)200年、何の前触れも無く、キリストは復活した！しかし人々は誰も彼がキリストだとは知らない。なぜならば、キリストの生まれ変わった姿は、ネコだった。そうキリストはネコである。

ネコの姿で猫達の寸劇が始まる。

ネコ3||娘、ネコ4||弟、ネコ5(キリスト)||パパ

ネコ3 (目が見えない感じで登場) 誰か私にペティーグリージャムを分けてはくさいませんか、何日も食べていません、かといって水道水ではお腹を下します、ですから誰か、私にペティーグリージャムを分けてはくさいませんか、缶切りは持っています、ただ開けるべきペティーグリージャムが無いのです、缶切りは持っています、かちつと開けれないタイプの場合だとあれなので、一応缶切りは持っています、ただ、ほお張るべきペティーグリージャムが無いのです、それが無いのならうまい棒でも構いません、うまい棒私大好きです、誰か、うまい棒がペティーグリージャムを

ネコ4 (走って登場)ペティーグリージャムが何だって、どこだ、どこだ

ネコ3 いえ、ニコにはありません、ニコにあるのは缶切りだけです

ネコ4 なんじゃそれ！走ってきて損したよ、紛らわしい奴だね！これでも喰らえ(うまい棒で殴る)

ネコ3 痛い、痛い、痛い、それ、私のうまい棒！

ネコ4 オしんだよ！

ネコ3 ああ、でもこんなにぐちゃぐちゃで、これではうまい棒ではなく、うまいだけの粉だ、あああああ…

ネコ4 うるせーよ、バカ野郎(首を絞める)

ネコ5 (登場)そんなことはやめなさい…

二匹一瞬止まるが、無視

ネコ4 このこの

ネコ5 無視しないでください、アーメン

ネコ3 4 アメ？

ネコ5 いいえ、アメはありません

ネコ3 4 じゃなんだよ今の

ネコ5 これは祈りの語尾です。言葉の最後にアーメンというだけで、神と対話ができるのです。神秘的になるのです

ネコ4 なんだそれ

ネコ5 試しに言ってみてください、あなたの好きな言葉の最後にアーメンと

ネコ3 うまい棒、アーメン、たこやき味、アーメン！おおーおお

ネコ4 なってないなってない、なんだおおって

ネコ5 いいえ(懐からうまい棒のたこ焼き味を出す)これを

ネコ3 (受け取り)ああこれは…アーメン！やったあーたこ焼き味だ(食べる)

ネコ5 アーメン…あなたもしかして目が？

ネコ3 ええ、流行病で視力を失いました

ネコ5 そうですか…

ネコ4 聞いただけかよ

ネコ5 そちらのあなたは足が？

ネコ4 ああ、わりーよ

ネコ5 そうですか

ネコ4 やっぱ聞いただけ？

ネコ5 じゃ(退場)

男 ネコとして復活したキリストは数々の奇跡を起こした。目の見えない人を見えるようにして

ネコ4 いやいや

男 足の不自由な人の足を治し

ネコ4 治ってねーよ

男 5つの大麦のパン粉と二匹の魚でだしを取り、本格的なそばを打った

ネコ5 (お碗をも持ち登場)へい、お待ち

ネコ4 単なる職人じゃん、それ

男 キリストネコは、そうやって神の教えをネコの世界に広めた。

ネコ4 アーメン(退場)

男 しかし、所詮はネコである。脳みその小さいネコ達に、キリストネコの言うことはうまく伝わらなかった。それどころか、語尾にアーメンとつけても、奇跡が起こらないことに激怒した役人ネコによって、キリストネコは裁判にかけられた。

ネコ全員 またたびの刑に処す！

男 キリストネコは三日三晩またたびをかがされ、その後バカになった。自分が何者であったかを忘れ、その面影を無くした。それでも時々、とてもかなしくなった

ネコ5 私はバカになりました。くるくるパーになりました。何かやるべきことがあった気がしますが、思い出せません。たいていどうでもよく、ふわふわした心持です。それでも、そう例えばこんな月のキレイな夜などは、土管の片隅で、不意に涙があふれるのです。コンクリートが冷たくて泣くのかもしれませんが。お腹が減って泣くのかもしれませんが。それとも、もつと他に理由があるのかもしれませんが。わからないまま涙が出ます。

この先、私が不思議に思った事は何一つ説明されないような、そんな途方も無い悲しみかもしれませんが。神様、私は、何を間違えたのでしょうか？

ネコ (登場し、キリストネコにうまい棒を渡す)

ネコ5 (うまい棒を食べながら)うまい…(泣いてしまっ)

男2 (登場)すばらしい…

ネコ、ネコ5 (退場)

男 いやまだ途中なんだけど…

男2 すばらしいの一言です、私感動いたしました

男 ラストが結構いいんだよ

男2 いえ、ここまでで結構です、いやー、ふむふむ、ふむふむ、いやー、先生やりましたね、おめでとつございます、いえ、ありがとうございます

男 大丈夫かこれ

男2 傑作ですよベストセラー間違いないし、いやーしかしネコがキリストにねえ

男 この間、ネコ拾ってな、その辺からこうイマジネーションってやつ

男2 ですか、ですか、いやーすばらしい！それでは先生いきますか、せーの

男、男2 万歳、万歳、万歳！

男2 いや、いや

男 何か飲むか？乾杯しよう(退場)

ネコ (登場)

男2 うん？何？し、し

男 (缶ジュースを持ち登場)いやわり、わり、ビールなくてよ、これ(渡す)、じゃ乾杯！(ネコ)お前、今お客さんがからあっち行ってろ、し

ネコ (隅へ)

男 しかし我ながらよ、よく書けたなって思うんだ、だって作文も

男2 (電話がかかってきたように)ちょっと失礼します…もしもしお疲れ様です、今先生の所で原稿を、はい、傑作ですよ編集長…え、え？そんな、それないでしょう…でも…わかりました、はい、はい

男 ……どしたの？

男2 それが

男 何、何、何、何、どした

男2 いやー参りました

男 どうしたの??

男2 今編集長から電話で…

男 噂のかたぶつ編集長な、なんだ、早く傑作読ませろってか

男2 実は、以前にも我が社の経営が苦しいと…

男 おう、それをおれの傑作でがっどらろ

男2 そのつもりでいままで進めて来たのです…

男 何だよさつきから、歯切れがわりーな、どしたの本当

男2 ほんの今ですが、会社の手形が不渡りを出したらしく、このままでは倒産だと…

男 ええーええー

男2 申し訳ございません

男 ええーじゃ何、これどうなの、ええー、この傑作、最低三千万って話は

男2 悔しいです、私悔しいです、先生からこんな傑作原稿をいただいた矢先に、会社が倒産だなんて

男 ちよ待てよ、おれにも予定がさく、だつて俺、もうすぐ出てくとか言つてんだぞ、そんな時によ、いままで世話なつたなつて、これなんかの足しにしてくれつて、現金をバンとよ、そついう…えええ、何とかしろよ菊池

男2 なんとかしたいんですが

男 なんかあんだろ、方法が、プロだろお前

男2 …ひとつだけ

男 あんのか?

男2 かし…

男 言つてみろよ

男2 あくまで仮の話ですが…今回の不渡りは、印刷会社への300万の支払い分です、ですから、仮にどこからか、300万を工面し、支払ができれば、倒産は免れます、そしてすぐにも先生の原稿を印刷に回し出版できれば、その300万はすぐにも回収できます

男 300万

男2 今回のような話が出ると、どこの銀行からも融資を受けることは不可能でしょうし…結局その金が無ければどうにもなりません、やっぱりダメなんです

男 待て待て待て、じゃあれか？仮に300万あれば、倒産もなしで、俺の傑作は

男2 世に問うことができます、先生も儲かる、私も儲かる、読者は満足する

男 だよな、だよな

男2 悔しいです、300万がないばかりに、こんな傑作をベストセラー間違いなしの傑作を、出版できないなんて、ああ人生とは理不尽だ

男 待て、もっかい整理するぞ、その300万があれば、おれには3,000万、だったよな

男2 少なくとも

男 理不尽だ、そりゃ理不尽だな、誰考えたって理不尽な話だ

男2 しかしそれが現実なんです、どこのにも300万は

男 (考え)ちよつと待つてろ

男2 先生何を、先生？

男 (食器棚の辺りを探し)あった、あった、あった

男2 先生それは？

男 待て、待て、ええと(通帳残高を見る)けっこう貯めたなあいつ

男2 先生まさか

男 ここに300万ある

男2 先生いけません

男 別にやるんじゃないぞ、貸すんだよ、だってそうだと、300万ねーばかりにだ、3000万ファイには出来ねーだろ、なあ、金つてのはよ、黙って置いていても増えない、先行投資してもんが必要なんだ、だろ

男2 さすが先生、ありがとうございします、では早速銀行に(退場)

男 あと印鑑か(探す)

ネコ ニヤア

男 なんだよ、邪魔だよ

ネコ ニヤ、ニヤ！

男 邪魔だよ、あっち行け

ネコ (男の前に立ちふさがる)ニヤ、ニヤ

男 何だよ、何だよ

ネコ ニヤア

男 邪魔すんな!

ネコ …

男 あった、あった(印鑑を見つけ退場)

ネコ ニヤア

暗転

14. 会食

妻、娘、弟。パパ、ダイニングにパーティーのような飾りつけをしている。

パーティー的な料理をテーブルに並べる

「田中さん、おはようパーティー」と書かれた大団幕を張る。

その後、みんな隠れる

男の声 ただいま!(登場)なんだ、誰もいねーのか?

4人 (登場し)サプライズ!

クラッカーを鳴らす

男 なんだ、なんだ？

弟 びっくりした？

男 するよ、何だよこれ

弟 実はみんなで話し合ってたさ、よく考えたら僕ら兄さんを責めるばかりで、ね、折角元気になったお祝いしてなかったでしよう…

男 それは…まゝな

弟 それで、今日はささやかなお祝いを！

男 ええ！いいよそんなの

弟 座って座って

男 わりーな、なんか(見直し)あ、あなたも

パパ 来ちゃいました！

男 すいません、なんか、悪いですね、みなさん(大団幕を見て)ああ、おはようパーティーね…なんだ、追いつきパーティーじゃねーの？

4人 (固まる)

男 冗談だよ冗談、サプライズ！

4人 サプライズ！

男 うまそうだな、食おう、食おう

シヤンパン、ジュース等を注ぐ

パパが持参したBGMをかける

弟 それでは、乾杯の前に、兄さんからスピーチを

男 え？

みんな スピーチ！

男 欧米か！お前ら…はいはい、それでは一言、ええと、本日は、私のためにこのようなパーティーを開いてくださいます、大変ありがとうございます。皆様に迷惑ばかりかけてきた私、身に余る光栄です。ええ、高木さん、恵子と美世子をよろしくお願いします。恵子、今までありがとう、ヒロシ、かみさんと仲良く、早く子供作れ、なんならオレが手伝つてやる、なんつって…あと、美世子、なんつーか、幸せになつてくれ…そんな感じで乾杯！

みんな 乾杯！

シャンパンを開ける

男 食おう、食おう…

適当な雑談(エチユードでもしますか?)

外から声 こんばんは、お届け物です

妻 何だろ?(退場)

男 でよ、初期のガンダムは…(ガンダムのうんちくを喋っている)

妻 (登場し)はんこだつて…(探す)あれ、どこいったっけ?

男 どした

妻 宅急便、はんこがね…

男 これか(ポケットから出す)

妻 ありがとう(何気なく受け取り退場)

男　ゼータなんか、すごいぞ（引き続きガンダムのおんちくを語り、3人は適当に聞いている）

妻　（小包を持ち登場）あなたにだ

男　オレ？何で（みして）…ベルグループ？食器セットだつて…頼んでねーよこんなの

妻　変ね

娘　スーパーの懸賞、この間出してたじゃん

妻　あ、そうだ、この前、みんなの名前借りて出したんだ、あ、それぞれ、あなたのが当たったんだ、ふーん、ほしっ？

男　いらねーよ

妻　じゃもううね

男　で、出てきたのがマクロスだ（今度はマクロスのおんちく）

妻　でも、どうして印鑑持ってたの？

男　え？

妻　どうして？

男　ああーちよつとな…でよ、ザブングルつてのから出てくる…

妻　ちよつとつて何？

男　ちよつとはちよつとだよ、オレだつて印鑑くらい使うことあるだろう

妻　ふーん

弟　もしかして、あれ？アパートの契約とか？この間探してるとか言ってたじゃん
男　おうおうおう、ま、似たようなもんだ…でな（なんかメカの話をする）

妻　（何かしらの違和感を感じ、食器棚の辺りを探し出す）

妻 無い

パパ 無いって何が

妻 定期用の通帳

パパ ええ？

妻 ここにおいたはずなのに

パパ どうかにしまい忘れたんじゃないの？

妻 うんうん、この間満期になって銀行に行ってここに

弟 どうしたの？

妻 あなた、知らない？

男 (後ろを見るが誰もいない)俺？何で？

妻 ただ聞いているの、知らないかなって

男 何で？

妻 だってこれ、通帳の印鑑だし…

男 ええー、ふうん

弟 兄さん何か隠してる？

男 何で

弟 兄さん隠し事するとき大抵そうやって腕組みするから

男 そうか？えええ

弟 で、どうなの？

男 …実はな、ちょっとある事の為に、借りた、うん、借りたっつうか、貸した？

妻 誰に？何のために？

男 だから、あのな、詳しくは言えないけど、ある人がとっても困っててな、ある事のために必要だっつうから、貸したの、一時的に、うん、すぐ戻ってくるから、もう心配すんな

妻 通帳は？

男 ああ、(二)ポケットから出す(

妻 (ひったくるようにして中を見る) 300万って…何に使ったの

男 だから、オレが使ったわけじゃねーよ、貸したの、一時的に、ある人に、ちょっと待ってりや、もう10倍になつてよ…どつした、食おつ、チキン、チキン

弟 チキンじゃなくてさ、きちんと聞かせて、その話

男 お前、上手いねヒロシ、チキンだけに、きちんとつてが？

弟 誤魔化さないで、ちゃんと聞かして

男 だから…詳しくは話せない訳よ、男と男の約束でさ、大丈夫、心配すんな…

娘 ふふふ

男 どこの世界に300万も貸して、家族に話せないなんて虫のいい話があんの、いいから話してよ

男 だから…もう長くなるし

弟 聞くよ

パパ 全部吐け！

男 吐けて…はいはいはい、わかりましたよ、まあ、もうな、出来たし、いいか、うん、あの実はな、みんなに

黙ってたけども、オレは今度作家デビューすんだよ

全員 え？

男 オレの話題でもちきりだった頃？「10年間の眠りから目覚めた男」とかもう、凄かっただろ、それに注目した出版社の男がいてな、菊池っーんだけど、その菊池がよ「先生、小説を書いてください」来たわけだ、菊池曰くな、オレみたいな経験、バックボーン、持った人間は世界広しと言えども、お前のヒロシじゃねーぞ、世界広しと言えども、オレしかないっーわけだ、そんなバックボーンを持ったオレに小説を書いてくださいって頭下げてきた、出来る奴は違うね、目の付け所が違う、でだ、お前らには黙ってたけど、オレは小説を書いてたわけ、黙ってて悪かった、この通り(頭を下げる)

弟 っ

男 おうおう、それが昨日出来上がった、そして今日だ、菊池に読みましたら、もう感動しちゃって菊池「先生、ありがとうございます！」さあ印刷だ、出版だ、ベストセラーだって矢先、菊池の会社が不渡りを出した、聞きゃー300万の支払いが滞ったばかりに、このままじゃ倒産の憂き目だっというじゃねーか。悔しいだろ、悲

しいだろ、ここに、オレの傑作が、出しゃベストセラー確実な原稿があるのにだ、そんな2、300万のはした金が工面できねーばかりに、出版をフイにする、オレの印税も、菊池の会社が、がとくる感じもおしゃかにしちまう、理不尽だ、こんな理不尽な話はねー、な、そんなこんなで、菊池の会社がな、倒産しねーで、オレの本出すまでの、ほんの一週間か二週間の間、貸したって話だ、なあ、オレの小説な、聞いて驚くな、出しゃ印税、3000万はくだれねーだろって、プロが太鼓判押ししてんだよ、本は凄いな、儲かるな…ま、そんなこんなで菊池に貸したの、なあ、わかる？だから、心配すんな…なんだお前らポカーンとしちゃってえ？

パパ 退職した校長先生の所に、男が訪ねてきてこう言うんです「先生、これまでの教員生活を振り返って本を出しませんか、40年間いろいろなことがあったでしょうから、そんな経験は読者の胸を打つはずですよ」校長先生は快く引き受けます、本が出来上がった矢先男は、会社の経営が苦しいので自費出版のような形で最初に本を出し、売れたらマージンに上乘せして印税を支払うと言い、校長先生はお金を支払います。その後、男との連絡は一切つかなくなりす

男 え、なんで

パパ そういう詐欺なんです

男 詐欺？へー今そんな詐欺もあんだ、まあ校長はな退職金とかあるかな

パパ 似てると思いませんか

男 何が

パパ 今の田中さんのお話と

男 どうが

パパ 本を出すとか経営が苦しいとか

男 全然違うよ、だって校長なんてのは「まん」と居るだろ、俺はほら世界広しといえど、もうバックボーンが…ええ？

男2 (登場)もしもしお疲れ様です、今入金しましたので、はい、確認お願いします、はいよろしくです

ネコ (登場)ニヤア

男2 うん？ダンボール？え？
ネコ ニヤ、ニヤ、ニヤ
男2 し、し！
ネコ ニヤ！
男2 なんだよこいつ、え？あれ、お前、あいつんとこのアレ？
ネコ (ネコ耳頭巾を男2に被せる)
男2 何何？
ネコ 返せ
男2 え、喋った？
ネコ 旦那のお金返せ
男2 気持ちわりーし
ネコ いいから返せ！(襲い掛かる)
男2 やめろって、やめろって、やめろって！なんだよ(押しのける)
ネコ (男2の足にしがみつく)返せ
男2 放せよ
ネコ 嫌だ
男2 放せ
ネコ 嫌だ
男2 放せって！(振りほどく)
ネコ 旦那のお金返せよ！
男2 何言ってるのお前、本当気持ちわりーし、し！し！
ネコ あのお金はな、大切なお金だ、お前にみたいな奴に渡せるお金じゃないんだ、返せ！
男2 あのなら
ネコ お前にわかるのか、旦那の気持ちがお前にわかるのか？
男2 金ほしかったんろ
ネコ 違う、違う、違う、本当はお金なんかほしくないんだ、本当は

男2 何言つての、3000万？とかその気になってじゃんあいつ、だからほいほい金出したんだろ

ネコ 違う違う、お前はなんにもわかってない、旦那はな、旦那は、理由がほしかったんだ、目的がほしかったんだ、誰も待ってない星に生まれて、ようやくやることが見つかったんだ

男2 何それ

ネコ 読んだか小説、最後まで読んだか、キリストネコってのは自分のことだ、自分をキリストにたとえるのはどうかと思っただけど、でも、あのキリストネコはな、生まれる場所を間違った居場所のないキリストネコは、それでも最後にみんなの幸せを願うんだ、思い出せたんだ、自分が昔キリストだったって、そんな、そんなキレイな心もわからない奴にあのお金を渡すわけにはいかないんだ

男2 あのな、バカじゃねーの、冷静になれよ、誰が、一体誰が

弟 兄さんの書いた小説なんか読むんだよ！

男 言うね、お前も

弟 だつてそつだろ、よく考えたらわかるだろ…

男 お前、オシはあれだぞ、バックボーンがよ

弟 どんなバックボーンだよ、兄さんにどんなバックボーンがあんの？

男 それは

弟 都合悪くなつたら逃げて、なんの責任も取らないで逃げて、ただ10年間ふて寝してただけの最低な男にどんなバックボーンがあるんだよ

男 …

妻 ヒロシさんもう

弟 駄目だよ姉さん、こんなの駄目だつて…兄さん、2、300万のはした金って言ったよ、じゃそのはした金、今すぐここに出してみろよ

男2 金なんてもうねーぞ、ほら、ほら、ここにもねー、パタパタパタ、ヒラヒラヒラつって、あつと言つ間に消えちやうの金つて、なあ、わかつたら帰れ

ネコ 小説は

男2 え？

ネコ あの小説はあるだろう、あれだけでも返せ、頼むよ、ママに見せるから、ミーちゃんにも、ヒロシおじちゃんにも、高木さんにも見せるから、そうしたらきつと

男2 あれ？

ネコ 頼むよ、なあこの通りだよ

男2 あれね、重いから捨てちゃった、だってクソつまんねーんだもん

ネコ この野郎！（襲い掛かる）

男2 （ネコをけり倒し、ダンボールの部分をめちやくちやにする）

ネコ （ダンボールが取れて素肌があらわになる、ひどい虐待の痕がある）

男2 （頭巾を取り）あらら、何でダンボール着てるのかと思ったら、そう、人間ってひどいね…

ネコ ニヤッ

男2 （退場）

ネコ （静かに退場）

男 なんかしんみりしちゃったけどよ、まだそうと決まったわけじゃねーんだからな、誰か、電話貸してくれない、一応確認してみよう

4人 （一斉に携帯を出す）

男 息あつてんね、みなさん、じゃ、借りる（ポケットから名刺を出し、電話を掛ける）あれ？じゃ別の（別の電話で掛けるがつかない）おかしいな、電波の調子か（別の電話に掛ける）あれあれ、これ本物か？おもちゃじゃなーの、つながんねーぞ…

間

男 そうだ、ちょっと菊池の会社行って来るわ

弟 いいよ

男 だつて

弟 騙されたんだよ！その電話も住所も、名前も全部でたらめなの

男 そんな…

弟 なにやっつてんだよ、本当にやっつてんだよあんた

男 あちゃゝ

弟 兄さん、教えてくれ、兄さんこれまで一回でも、何かの役に立つことした？生まれてから一回でも誰かのために胸張っていいことしたって、そんなことした？

男 そりやお前、何かあんだろ、オレだつて…取り柄のひとつやふたつ

弟 言つてくれ、頼むよ

男 だから、あれだ、スプーン曲げ、スプーン曲げ出来んだオレ、なあ恵子、覚えてんだろ、スプーン曲げみして、お前キヤツキヤツ笑つて…そうだよ、スプーン曲げみしてやるよ、お前らにスプーン曲げみしてやる、オレだつてすげーんだぞ（食器棚を探す）スプーン、どこだ、スプーン、どこだ、どこだ、どこだ、どこだよ、この家には、この家にはスプーンがねーのか！

妻 …捨てたの、あの日、全部捨てたの…

娘 ふふふ

男 笑うな、ミー子

弟 何で

娘 ふふふ

男 笑うな、ミー子

弟 何で目なんか覚ましたんだよ！

娘 ふふふふふ

男 ここは笑うところじゃねー、ここは、怒るとこなんだ、おじちゃんみてーによ、だから、そんな風に笑うな！

4人 (静かに退場)

暗くなる

15. 睡眠

男 思い出した…今頃思い出しちゃった…あの夜、オレが眠っちゃまう前の事。あの時も、やけに辺りが静かだよ、時間がゆっくりと流れてるみてーで、不思議な感じだった。オレは目を閉じたんだ、目玉つぶれるんじゃねーかってぐらい力込めて目を閉じたんだ。そして思った、時間戻せねーかなって…必死だよ、必死で、スプーン曲げの時みてーに、あん時の何十倍の力で、目玉つぶって、強く強くつぶって、念じて、時間戻せねーかなって(強く目を閉じる)

軍艦マーチが流れる

暗転

明転するとオオの美世子が立っている

男 いいか、ミー子よく聞け、お父さんな、これから、お仕事に行ってくる、子供が来ちゃいけないお仕事だ、わかるか？

娘 わかる！

男 よーし、いい子だ…そっだ、これやろう(ぺろぺろキャンデーを出す)お前の大好きなぺろぺろキャンデーだ、うれしいか

娘 うれしい

男 それなめて、じっとして待ってろ、なあ、そのキャンディーなめおわる頃には帰ってくる、出来るか

娘 できる

男 よーしい子だ、じゃ、行くから、あれだ、絶対何にも触んなよ、危ないから、な、危ないってわかるか

娘 死ぬこと

男 そうだ、偉いな、いい子だ、じゃ、待ってろ、何にも触らないで、そこでじっとして、な、出来るか

娘 出来る

男 いい子だ！じゃ、待ってろ

間

男 ミー子

娘 うん？

男 父さん嘘ついた

娘 うそ？

男 ああ、父さんお前に嘘ついた、今言ったこと全部嘘だ、父さんが行くのは仕事じゃねー

娘 じゃミー子も行く

男 それはできねー

娘 どうして

男 どうしてもできねー

娘 …

男 お前を連れて行けたらどんなにいいだろうって思う、ずっと思ってた、でも出来ねーんだ…そのキャンディ
ーがなくなっても、父さん戻ってこねーなにせこれから6連ちゃん7連ちゃんだ、お前のことなんか忘れちま
うに決まってる…だから、しばらくして心細くなったり、何か怖いことが起きたら、そんなとこいねーで、さっ
さと車飛び出して、警備の人に泣きつけ、パパのバカって、パパのうそつきって…オレの言いつけなんか律儀に守
んなくていいんだ、わかるか？

娘 わかる

男 そうか…つまりあれだ、オレが言っているのは、いい子じゃなくていいんだ、何も我慢しなくていいんだ、そ

ういうのは大人の仕事だ、だから、つらいときは泣いてくれ、出来るか

娘 出来る

男 そうか…

娘 うん

男 お前が病気だなんておれは信じねー、お前は、何でも我慢して、オレに遠慮して、ニコニコしてんだろ

娘 違うよ

男 いいんだ、わかってる…そんなやさしい娘を、おれは何してたんだろうな…

娘 聞いてもいい？

男 いいよ

娘 眠ったの…

男 うん？

娘 眠ったのは、わたしのせい？

男 …バカ…バカ、そんなわけねーだろ、お前そんなこと思ってたのか、違うよ、みんなオレが悪ーんだ、お

前はなんにも悪くない、わかるか

娘 …

男 わかれ！お前はなんにも悪くない、わかるな

娘 うん

男 本当か？

娘 本当！

男 そうか…よかった、じゃお父さんもう行くぞ

娘 パパ

男 うん？

娘 なんでもない、呼んでみただけ

男 そうか…ミー子、これだけは、忘れるな、これから先、もうお前に悪いことは起きねー、絶対に起きねー

娘 どうして

男 どうしてかかってさういふのは、さういふのは、オシで打ち止めだからだ！（強く目をつぶる）

軍艦マーチUP

16. チャンピオンの朝食

娘 翌朝、私の本当のパパは、あのベッドで眠ったままおきてこようとほしなかった…病院で検査をしたけど、やっぱりまた眠ってしまった理由はわからない。そしてまた、私たちは元の生活に戻った。

あの朝、パパが眠ってしまった朝、テーブルには不思議な形に曲がったこのスプーンがおいてあった。家になくはずのスプーンは、パパ宛の食器セットの中にあっただみみたいで…

このスプーンを見るたびに、私は、おかしくて笑ってしまう…

おわり